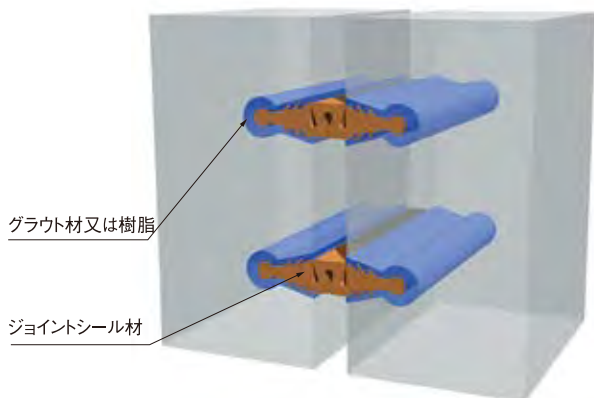


TSKJ工法〈可とう接ぎ手工法〉

受注
生産建技
審証NETIS掲載終了
KK-980097-A

耐震性(T)、止水性(S)、可撓性(K)に優れた経済的なジョイントです。

■止水システム



建設技術審査証明
(下水道技術)
(公財)日本下水道新技術機構
建技審証第1817号

※本審査証明は
(株)ヤマックス・丸栄コンクリート工業(株)
に交付されたものです。

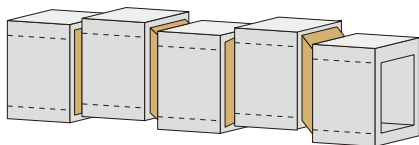
ボックスカルバート等プレキャストコンクリート製品の
平滑な継手面に形成された溝に充てん材を注入した後、
ジョイントシール材をそう入・連結することによって製品
個々に可とう性を有する柔軟な構造となります。

これによりボックスカルバートはレベル2地震動に追従
した耐震性能を満足するものとなります。

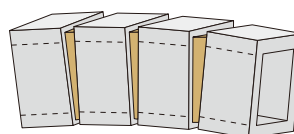
■耐震・可撓性

ブロックのジョイント部に可撓継手を設けているため、地盤の変化に追従し、過大な変形(最大地盤歪み2%)も吸収できます。

不等沈下



浮き上がり

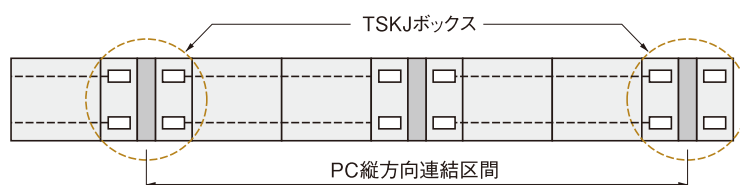


■地震動による管路軸方向の変形に対する設計概念

●PC縦方向連結による一般的な管路の要所におけるTSKJボックスカルバートの設計例

照査内容

- 1.PC縦方向連結区間
地震時軸力に対する目地開きの検討
- 2.TSKJボックス
軸方向変位、曲げ変位に対する目地開きの検討



 ① 桝など構造形が異なる部分での接続	 ② 地層が変化する部分(不等沈下) 良質な地盤 軟弱な地盤	 ③ 上載荷重が変化する部分	 ④ 管路の接点部分
------------------------	---	-------------------	---------------

